

図1 頸椎部のアプローチ  
A: 動静脈, 気管, 食道を分けて椎体前面に達します。ヘルニアや骨化した靭帯 (太矢印→) はその椎体の奥にあります。

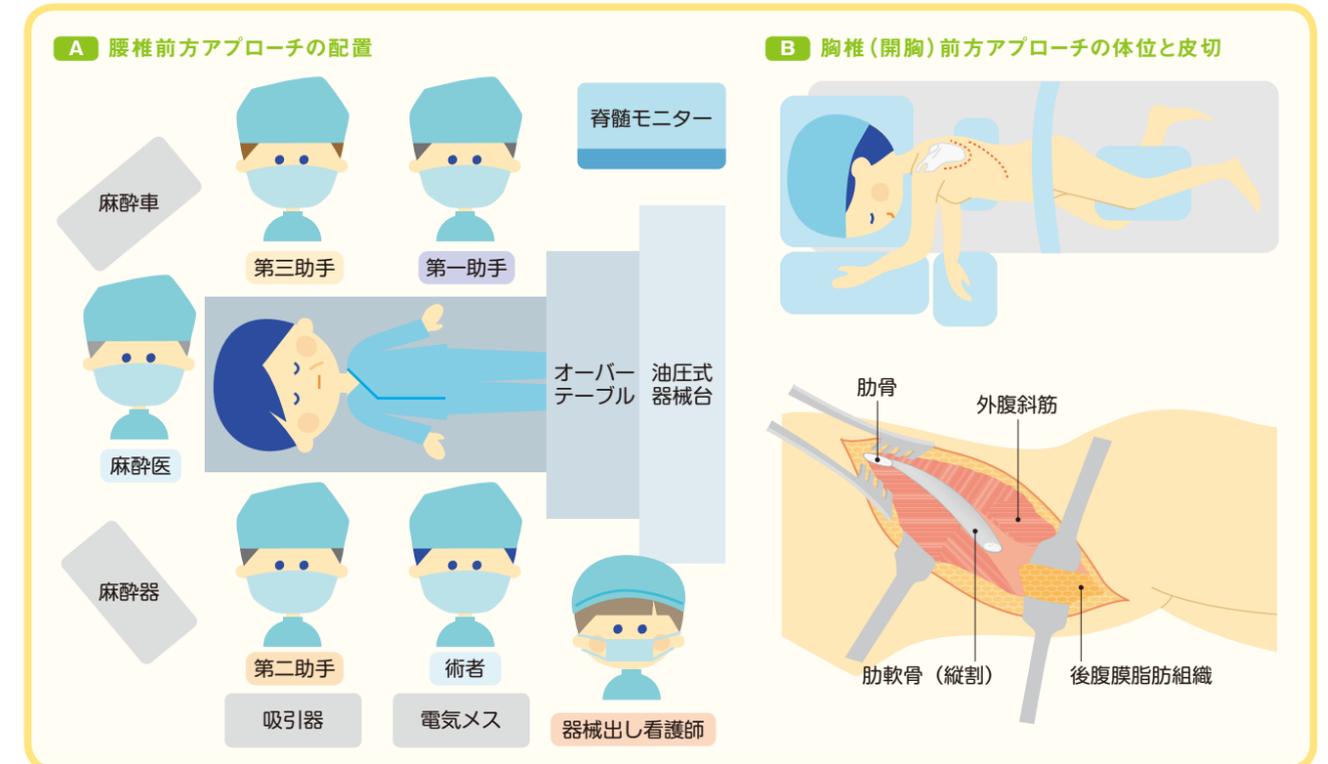


図2 前方アプローチの配置, 体位, 皮切  
B: 両手は術野の邪魔にならないよう約 100°ほど挙上し若杉の架台に固定します。圧迫による腋窩神経麻痺が起こらないよう、わき枕をあてます。腓骨神経麻痺が起こらないよう右下肢腓骨頭部に、また大転子部、踵部にもスポンジまたはソフトナースを置きます。その後、マジックベッド、テープで体位を固定します。皮切切除予定の肋骨を中心にややS字状におきます。

## 手術前の準備

### 手術室の準備

よい器械出しを行うためには、まず部位別の手術体位から、術者、助手、麻酔医、器械出し看護師の位置、モニター器機、オーバーテーブルなどの最適な配置 (図2) を考えますが、各施設により少し異なるため、事前に医師と打ち合わせをしておくこと円滑に行えます。

### 手術器械の準備

器械出し看護師は、手術器械など清潔操作で扱うものとして大きく5つのグループに分けて考えておくこと把握しやすいと思います。ただし手術器械は、そのときに使用するものだけをオーバーテーブルの上に出し、その他の器械は使用する順番に器械台の上準備して、清潔デッキなどをかけておくことが

清潔保持の面から考えてよいのです。

### 1) 全科共通の手術基本セット

リネン; 基本パック, 手袋, 術衣, 大無, オーバーテーブル用大無, テルモ生食 500mL, ボーンワックス, サージセル, アリスタ, メス刃 No.15・20, 吸引ポケット, 整形用針セット, 吸引嘴管大・中, 電気メス, バイポーラコード, バイポーラセッシ, 吸引チューブ, シャーレ, スポンジ, ビーパーメス, サージエアトム, 22G カテラン針 2本, ディスポ注射器 20mL 2本, ジェルコ 14G 2本, ドレープ (2045)

#### 縫合糸など

バイクリル 1-0, 3-0, ナイロンモノフィラメント, 1号ブレードナイロン, サージパック, など。

### 2) 整形外科手術の基本セット

消毒鉗子 2本, 布鉗子 10本, コッヘル 5本, ペアン 5本, ケリー 2本, モスキートペアン 5本, クーパー,

メーヨー, メッツェン, ヘガール持針器 2本, マチュール持針器 2本, ハンマー 1本, 有鉤 (無鉤) 鉗子各種セット, 筋鉤セット, ペンチ, ラジオペンチ, デバイダー, メス柄, メジャー, エレバラスパ 2本, 外科ゾンデ, ゲルビー 2セット

鉗子立て, 金属缶, 金属シャーレ, 綿球, X線ガーゼ (10枚セット), 手ふきガーゼ, 膿盆

### 3) 脊椎前方手術セット

ノミ各種, 自在鉤 (大, 中, 細), S型テラー鉤, 打ち込み器 (大, 小, 靴型), まな板, やすり, レシプロケーター, ケリー, ライトアングル, ロングモスキート, 髓核鉗子各種, スタンツェ各種, リュエル, リストン, ビーパー用メス柄, コブラスパ,

カウンタープレッサー, 椎間拡大器, デシャン, スタインマンピン, ドリルコード, ツッペル

### 4) 開胸セット

開胸器 (大, 中, 小), 閉胸器, ミクリッツガーゼ, ドワイアン型肋骨剥離子 (右, 左), ランゲンベック骨膜剥離子, ラспа, 肋骨剪刀 (前方用, 側方用), ウィスカー, 肩甲骨鉤, ドベイキー鉗子, アリス鉗子, 肺鉗子, サテンスキー (小, 中) 大動脈鉗子 (60度, 90度)

### 5) 借り物器械

とくにインストゥルメンテーションを用いる場合には借り物器械があるため、あらかじめ区別しておきます。